

後期土曜補習の講座内容をお知らせします。申込方法等は、本日別に配布するプリント（「3年生後期土曜補習について」）で確認すること。夏期補習と同様、必要な講座をよく見極めて申し込むこと。「自分で学習する時間」もしっかり確保するよう心がけてください。

2018 3年後期土曜補習 講座一覧

講座番号	講座名	担当	講座内容	10月6日	10月20日	10月27日	11月10日	11月17日	11月24日	12月1日	時限	
1	国語 国公立二次対策	神田	東北、千葉、首都、埼玉、学芸志望	○		○		○		○	②	
2	国語 国公立二次対策	関口	東大、一橋、お茶の水、筑波志望	○		○		○		○	②	
3	数学センター演習	塩原	センター形式の演習&解説	○	○	○			○	○	①	
4	数学ⅠAⅡB演習	池田	2次試験対策 上位校向け	○	○	○	○	○	○	○	④	
5	数学Ⅲ演習	花野井	2次試験対策 上位校向け	○	○	○	○	○	○	○	②	
6	難関国立大英語対策	松本	記述問題対策		○		○		○		③	
7	早・慶・上智英語対策	松本	何が難しくさせているのかを解明	○		○		○		○	③	
8	文法・語法・難問演習	松本	何が難しくさせているのかを解明	○		○		○		○	④	
9	長文読解(標準～難関)	田沼	問題演習+解説	○	○		○	○	○	○	①	
10	長文読解(標準)	森	センター～標準レベル	○		○		○		○	①	
11	文法・語法(標準)	森	問題演習+解説	○	○	○	○				②	
12	隙間の世界史	西岡	貴方の受験世界史の隙間を御埋めします	○		○		○		○	①	
13	地理(センター対策)	清水	問題演習および解説	○		○	○	○		○	③	
14	物理頻出問題演習	金森	力学、熱力学、波動、電磁気学分野の問題演習(入試基礎～標準レベル)	○	○	○	○	○	○	○	②	
15	生物入試問題解説	平田	頻出の入試問題の解説を通して、解き方や考え方を身につけ、基礎力を養います。	○		○		○		○	①	
16	化学 センター対策	吉田	バックVを用いた演習&解説	○		○	○	○		○	④	
17	化学 二次試験対策	石川	重要問題集を用いた演習&解説	○	○			○	○		③	
18	モーニングサービス センター対策政経	橋本	センター過去問で毎日1テーマ、大問1題に取り組むことで、政経全範囲を総復習します。	9～11月の毎朝、プリント配布(@進路資料室前)。昼に解答・解説プリント配布。全48問実施予定。昨日9月6日からすでにスタート済み。								

【時限】: ①8:55～10:25、②10:40～12:10、③13:00～14:30、④14:45～16:15

後期 土曜補習時間割

時限	時間	開 講 講 座				
①	8:55-10:25	数学センター演習 (塩原)	英語長文読解(標準～難関) (田沼)	英語長文読解(標準) (森)	隙間の世界史 (西岡)	生物入試問題解説 (平田)
②	10:40-12:10	国語国公立二次対策 東北・千葉・首都・埼玉・学芸 (神田)	国語国公立二次対策 東京・一橋・御茶ノ水・筑波 (関口)	数学Ⅲ演習 (花野井)	英語文法・語法 (森)	物理類出問題演習 (金森)
③	13:00-14:30	難関国立大英語対策 (松本)	早・慶・上智英語対策 (松本)	地理(センター対策) (清水)	化学二次試験対策 (石川)	
④	14:45-16:15	数学ⅠA・ⅡB演習 (池田)	英語文法・語法・難関演習 (松本)	化学センター対策 (吉田)		

センター試験へ向けた準備が始まりました！

9月5日(水)7限L.Fで、センター試験の説明会がありました。説明の中心は「志願票」の記入方法でしたが、配布されたプリントと『受験案内』をよく読んで、遺漏のないよう、9月21日(金)の校内出願へ向けた手続きを進めてください。ここでは、これまでのL.Fでの説明と重複する部分もあるかと思いますが、センター試験関連のアドバイスを何点かしておきます。

①センター試験受験で「可能性」を広げよう

センター試験受験のメリットを一言で言えば、センター受験によって「進路実現の可能性を広げる」ことができるということです。

センター試験の得点と個別(2次)試験の総合点で合否が決まる国公立大学はもちろん、私立大学でも9割の大学が、「センター試験を利用した入試」を、「大学独自の入試」とは別に実施しています。大学進学希望者にとって、センター試験は不可避の試験といってよいでしょう。入試問題の内容を見ても、各科目とも、教科書の基本事項を踏まえた良問が多く、センター試験での高得点獲得を目指して努力する(=基礎力を固める)ことが、より難度の高い国公立大や私大の個別入試での合格ライン突破につながってゆくはずです。

②受験プランを考えよう

センター試験の申し込みは受験教科の登録をともないます(特に「地理歴史・公民」「理科」の受験教科目選択・登録には、細心の注意が必要となります)から、この時点での受験プランを立てる必要があります。日程等を踏まえた詳細なプランは、最終的には12月頃に決定することになりますので、現時点では「受験をする可能性」を踏まえたプランを、夏休みの成果と課題を踏まえて考え始めましょう。センター試験で「押さえ校」を確保できれば理想的です。

③手続きはもう始まっています

検定料払込期間は9月3日(月)～10月12日(金)となっています。来春のセンター試験(2019年1月19&20日実施)に向けての手続きはもう動き出しているということです。

校内出願日：9月21日(金)

慌てることはありませんが、校内出願日2日前の19日(水)までには検定料の払込みを済ませ、上記の期日に「志願票」を提出しましょう。